

あいち病害虫情報 最新情報

令和 8 年 7 月 1 5 日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

向こう 1 か月の気温は高く、降水量は平年並

名古屋地方気象台 7 月 9 日発表の 1 か月予報によると、向こう 1 か月の気温は高い見込みで、特に期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。降水量と日照時間はほぼ平年並の見込みです。

イネいもち病

7 月上旬の巡回調査の結果、葉いもちの発生量は平年並の状況です。また、BLASTAM によるいもち病（葉いもち）感染好適日の判定結果では、7 月以降も県内多数地域で感染好適日が複数回示されています。今後気温は高くなり、降水量は平年並と見込まれていますが、今後の気象やほ場の状況によっては、発生が増えるおそれがあります。特に、葉いもちが上位葉で発生している場合は、穂いもちに移行するおそれもあるため、引き続き発生状況には注意しましょう。

表 BLASTAM によるいもち病（葉いもち）感染好適日の判定結果（7 月 2 日～7 月 7 日）

日付	愛西	名古屋	大府	南知多	豊田	岡崎	蒲郡	伊良湖	豊橋	新城	稲武
7/2	—	4	●	●	4	9	●	3	●	9	○
7/3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/5	●	●	●	2	●	●	—	2	2	●	●
7/6	●	8	6	7	●	—	—	7	—	●	●
7/7	—	5	4	3	3	2	3	—	3	●	●

●：好適条件（湿潤時間が長く気温も適当で、いもち病発生の好適条件が現れた）
○：準好適条件湿潤時間は 10 時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が比較的低く、その平均気温に必要な湿潤時間より短い
数値：湿潤時間が 10 時間未満の場合の湿潤時間数
—：好適条件なし（いもち病発生の好適条件が現れなかった）

斑点米カメムシ類

7 月上旬の巡回調査の結果、斑点米カメムシ類の本田すくい取り捕獲虫数は、おおむね平年並でしたが、ミナミアオカメムシは本田、畦畔ともにやや多い状況のため、ほ場での発生状況に注意しましょう。詳細は、本日発表の「斑点米カメムシ類情報第 2 号」を参照してください。

トビイロウンカ、セジロウンカ

トビイロウンカは、7 月上旬までに巡回調査及び予察灯において発生を確認していません。詳細は、本日発表の「ウンカ類情報第 2 号（トビイロウンカ）」を参照してください。
セジロウンカは、7 月上旬の巡回調査で、90 ほ場中 13 ほ場で発生を確認し、発生量は平

年並です。予察灯では、6月第3半旬から第6半旬にかけて、長久手市で2頭、豊川市で1頭誘殺されました。

トビイロウンカとセジロウンカは、ほ場ごと、または場内でも発生密度の差が大きいので、ほ場をよく観察し、今後の発生に注意してください。

ニカメイガ

弥富市、安城市、西尾市、豊橋市において、ニカメイガによる水稻の茎の心枯れの目立つほ場が確認されています。今後、次世代幼虫による心枯れ茎や白穂などの被害が多発した場合、減収を引き起こすこともあります。7月3日発表の「ニカメイガ情報第1号（水稻）」を参考に防除しましょう。

県内水田（休耕田）でオオバナミズキンバイが確認されました

西三河地域の水田（休耕田）で特定外来生物であるオオバナミズキンバイが確認されました。詳細は、本日発表の「令和8年度病害虫発生予察特殊報第2号」を参照してください。

ダイズ・野菜類・花き類のチョウ目害虫

オオタバコガ及びシロイチモジヨトウのフェロモントラップにおける誘殺数は一部地域で多い状況です。7月3日発表の「令和8年度病害虫発生予察注意報第4号（オオタバコガ）及び第5号（シロイチモジヨトウ）」を参考に、防除を実施しましょう。

ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺数は、西尾市及び長久手市において過去10年間で最も多く、豊田市においては2番目に多い状況です。詳細は本日発表の「ハスモンヨトウ情報第1号（ダイズ、野菜類、花き類）」を参照してください。

果樹カメムシ類

予察灯及びフェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの誘殺数は概ね平年並の状況ですが、一部地域で誘殺数が多い状況です。今の時期、チャバネアオカメムシはヒノキやスギの球果などを餌として生育しており、これらの球果を吸汁し、餌として不適となると、餌を求めて果樹園へ飛来します。果樹園への飛来状況に注意し、必要に応じて防除しましょう。また、8月上旬発表予定の「果樹カメムシ情報第3号」で、7月下旬のヒノキ球果におけるチャバネアオカメムシの生息状況等を掲載する予定ですので、参考にしてください。

クビアカツヤカミキリに注意！

6月から8月に成虫が発生し、産卵します。5月18日発表の「クビアカツヤカミキリ情報第1号」を参考にして薬剤防除しましょう（収穫中の場合は収穫前日数に注意してください）。クビアカツヤカミキリ成虫を発見した場合は、直ちに捕殺してください。

チャノキイロアザミウマ

カンキツほ場における本種の黄色粘着トラップにおける誘殺数は平年並の状況です。また、ブドウほ場における本種の誘殺数は豊橋市で平年並、東浦町でやや少ない状況です。

ナシヒメシンクイ

6月下旬に実施した巡回調査において、モモのナシヒメシンクイによる被害新梢率は少ない状況ですが、フェロモントラップにおけるナシヒメシンクイの誘殺数は、豊田市及び長久手市でやや多い状況です。今後、ナシにおいても被害が発生するおそれがありますので注意しましょう。

ブロッコリー黒すす病

ブロッコリーやキャベツの黒すす病が一部地域で問題となっています。育苗中は高温多湿を避け、発病株は早期に処分しましょう。

フェロモントラップなどの各種調査データは、HP「あいち病害虫情報」（アドレス：<https://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/index.html>）を参照してください。

問合せ先 愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 病害虫防除室 TEL 0561-41-9513 FAX 0561-63-7820
